

問1 律令制度のもと、都から地方へ行政命令が伝えられ、民衆に届くまでの仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2025年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 幕府から派遣された守護が、現地の役人である国司を指揮し、荘園領主を通じて民衆に命令を伝達した。 | 2. 中央から派遣された国司が、地方豪族から任命された郡司に命令を伝え、さらに里長などを通じて民衆に伝達された。 | 3. 地方豪族が都へ赴いて国司となり、天皇から直接受けた命令を、現地で採用された地頭を通じて民衆に伝達した。 | 4. 中央の役人である郡司が、各地方に置かれた国司に命令を伝え、そこから代官を通じて民衆に伝達された。 |
|--|--|--|---|

問2 奈良時代の文化を象徴する『万葉集』に関連して、当時の社会状況や表現方法について述べた文として正しいものを選びなさい。 (2024年

岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 貴族文化の全盛期であったため、都以外の地方の暮らしについて詠まれた歌は一切含まれていない。 | 2. 当時の国際情勢を反映し、すべて唐の詩人による漢詩を日本語に翻訳したものが集められている。 | 3. 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する万葉仮名が使われ、防人の歌からは家族と離れて暮らす悲しみが読み取れる。 | 4. 平仮名が発明された直後の時期であったため、すべての和歌が平仮名によって記録されている。 |
|--|---|--|--|

問3 聖武天皇が全国に国分寺を建立することを命じた背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. 外国からの侵略に備え、各地の寺院を軍事的な砦として活用しようとした。 | 2. 儒教の教えを広めることで、農民の道徳心を高め、年貢の徴収を円滑にしようとした | 3. 地方の豪族を仏教によって監視し、天皇による中央集権を完成させようとした。 | 4. 仏教の力を借りることで、社会不安を払い、国家の安定をはかろうとした。 |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|

問4 奈良時代の人々の生活や感情を伝える資料において、天皇や貴族から、防人（さきもり）や農民といった幅広い階層の人々の和歌が収められている、日本最古の歌集として正しいものを選びなさい。 (2018年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------|----------|--------|
| 1. 新古今和歌集 | 2. 万葉集 | 3. 古今和歌集 | 4. 方丈記 |
|-----------|--------|----------|--------|

問5 班田収授法のもとで行われた、人々と土地の関係や税の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2015年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|--|------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 農民を5人一組の集団に編成し、年貢の納入に対して連帯責任を負わせた。 | 2. 戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、収穫した稲の一部を「租」として納めさせた。 | 3. 土地の所有権を認め、地価の3%を現金で納めさせた。 | 4. 武士に対して領地を与え、その代わりに軍役や奉公の義務を負わせた。 |
|---------------------------------------|--|------------------------------|-------------------------------------|

問6 奈良時代の律令国家が、平城京に「市」を設置し「和同開珎」を鑄造した目的やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。

(2023年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 和同開珎を平城京の市でのみ使える「記念品」として発行することで、地方から平城京への人口流入を防ぐことを最大の目的としていた。 | 2. 当時深刻だった銅不足を解消するために、平城京の市に集まる商人から強制的に銅を回収する手段として和同開珎を発行した。 | 3. 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。 | 4. 全国の農民に貨幣を均等に配布することで、平城京以外の地方都市においても物資の売買を禁止し、自給自足の生活を徹底させるためであった。 |
|---|--|---|--|

問7 律令制度下の土地の仕組みにおいて、6歳以上の男女に与えられ、死後には政府へ返却することが定められていた土地を「口分田」と呼びます。この口分田の運用実態に関する説明として正しいものはどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 売買や譲渡が自由に行える、個人の完全な私有地であった。 | 2. 本人が死亡した後も、子孫が代々耕作権を引き継ぐことが認められた。 | 3. 新しく開墾した者が、永久に自分の土地にできる制度に基づいた土地であった。 | 4. 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。 |
|--------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------------|

問8 奈良時代、聖武天皇は「鎮護国家」の思想に基づき、全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立するよう命じました。この政策がとられた当時の背景や目的として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 一向一揆のような大規模な民衆の蜂起を抑えるため、既存の寺院の統制を強化した | 2. 仏教の力で国を護り、伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を鎮めようとした | 3. 法然が説いた浄土宗を全国に普及させ、個人の魂の救済を第一の目的とした | 4. 武士の間に禅宗を広めることで、鎌倉幕府に対する忠誠心を高めようとした |
|--|---|---------------------------------------|---------------------------------------|

問9 奈良時代の土地・税制度の変化について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。「人口の増加などにより（①）が不足したため、政府は743年に（②）を出し、自ら新しく開墾した土地の永代にわたる私有を認めた。」 (2021年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------|--------------|-----------------|-----------------|
| 1. ①口分田 ②墾田永年私財法 | 2. ①荘園 ②大宝律令 | 3. ①検地 ②墾田永年私財法 | 4. ①口分田 ②三世一身の法 |
|------------------|--------------|-----------------|-----------------|

問10 奈良時代、平城京を中心に展開された「天平文化」について、その成立背景と中心人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年

山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 聖武天皇が仏教による鎮護国家を目指し、唐の影響を受けた国際的な文化が形成された。 | 2. 足利義満が日明貿易を推進し、公家文化と武家文化が融合した北山文化が形成された。 | 3. 藤原道長が摂関政治の全盛期を築き、かな文字を用いた女流文学が発展した。 | 4. 桓武天皇が新しい仏教を保護し、山岳修行を中心とした神秘的な文化が形成された。 |
|---|--|--|---|

問11 奈良時代には、天皇を中心とする律令国家の体制を整えるため、国家の成り立ちや正当性を示す歴史書の編纂が行われました。この時期にまとめられた、日本最古の歴史書とされる書物と、中国の歴史書の形式にならって編纂された正史の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(2019年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 日本書紀・解体新書 | 2. 風土記・日本書紀 | 3. 古事記・日本書紀 | 4. 古今和歌集・万葉集 |
|--------------|-------------|-------------|--------------|

問12 奈良時代に出された「人々と共に仏の世界に近づくこうと思い、金銅の大仏をつくることを決心した」という主旨の詔（みことり）に見られる、仏教の力によって国家の安定や平和を願う思想を何といいますか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天人相関 | 2. 公地公民 | 3. 神仏習合 | 4. 鎮護国家 |
|---------|---------|---------|---------|

問13 奈良時代の聖武天皇の時代を中心に栄えた天平文化を代表する彫刻作品で、奈良市の興福寺に安置されている、三つの顔と六本の腕を持つ仏像を何といいますか。 (2026年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. 阿修羅像 | 2. 弥勒菩薩像 | 3. 金剛力士像 | 4. 阿弥陀如来像 |
|---------|----------|----------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中央から派遣された国司が、地方豪族から任命された郡司に命令を伝え、さらに里長などを通じて民衆に伝達された。	律令国家では、全国を「国・郡・里」という行政単位に分けて統治しました。中央集権的な支配を強めるため、都からは貴族が「国司」として各地方へ派遣されました。しかし、現地の細かな実情を把握する必要があったため、古くからその土地を支配していた「地方豪族」を「郡司」に任命し、国司の指揮下で実務を担わせる二段構えの体制をとりました。守護や地頭は鎌倉時代以降、代官は主に江戸時代の役職であるため、律令制度の説明としては不適切です。
問2	答え 3 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する万葉仮名が使われ、防人の歌からは家族と離れて暮らす悲しみが読み取れる。	万葉集が編纂された時代にはまだ「かな文字」が完成していなかったため、漢字の音や訓を組み合わせて日本語の音を写し取る「万葉仮名」という表記法が用いられました。また、九州の沿岸警備を命じられた「防人」の歌には、遠い故郷や家族を思う切実な心情が詠まれており、当時の民衆の負担や生活を知る貴重な手がかりとなっています。
問3	答え 4 仏教の力を借りることで、社会不安を払い、国家の安定をはかろうとした。	奈良時代の中頃は、天然痘の流行や政治的な混乱、飢饉などが重なり、社会が非常に不安定な状況にありました。聖武天皇はこうした災厄から国を救うため、仏教の力に頼る道を選びました。全国に国分寺を配置し、都には総本山となる東大寺を建立して大仏を造立するなど、国家規模での仏教政策を推進しました。
問4	答え 2 万葉集	万葉集は、奈良時代の末期にまとめられたとされる日本最古の歌集です。約4500首もの歌が万葉仮名で記されており、山上憶良による貧しい農民の暮らしを詠んだ「貧窮問答歌」や、九州の沿岸警備に送られた兵士による「防人の歌」など、当時の社会状況や庶民の率直な感情を今に伝える貴重な歴史資料となっています。一方、古今和歌集は平安時代の勅撰和歌集、方丈記は鎌倉時代の随筆です。
問5	答え 2 戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、収穫した稲の一部を「租」として納めさせた。	律令制のもとでは、政府は戸籍を作成して人々の性別や年齢を把握しました。6歳以上になると男女ともに口分田が与えられ、死ぬまでその土地を耕作する権利が認められる代わりに、収穫量の約3%にあたる稲を税として負担する義務がありました。
問6	答え 3 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。	律令国家は、唐の優れた貨幣制度を導入することで、国家としての権威を高めようと考えました。平城京内に市場を整備し、和同開珎による取引を促進した背景には、都の建設に従事する労働者への支払いや必要な資材の調達を、物々交換ではなく貨幣を介して効率的に行うという経済的な狙いがありました。
問7	答え 4 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。	律令制度における口分田は、国家から一時的に貸し与えられた土地という性質を持っていました。政府は正確な人数や年齢を把握するために6年ごとに「戸籍」を作成し、それをもとに公平に配分し直す班田収授を行いました。後に認められる「墾田永年私財法」のような土地の私有化とは異なり、個人の売買や世襲は原則として禁じられていた点が特徴です。
問8	答え 2 仏教の力で国を護り、伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を鎮めようとした	奈良時代、日本では天然痘の流行や藤原広嗣の乱といった深刻な社会不安が続いていました。聖武天皇は、仏教の力によって国家の安定を祈る「鎮護国家」の思想を重視し、全国に寺院を設置することで体制を整えようとしていました。選択肢にある禅宗や一向一揆、浄土宗などは、いずれも鎌倉時代や室町時代といった後の時代の出来事に関連するものです。
問9	答え 1 ①口分田 ②墾田永年私財法	班田収授法において、6歳以上の男女に与えられる土地を口分田と呼びますが、人口の増加に伴ってこの土地が不足しました。政府は当初、三世代に限り所有を認める「三世一身の法」を出しましたが、期限が来ると土地が返還されるため農民の意欲が上がらず、最終的に永久私有を認める「墾田永年私財法」へとつながりました。
問10	答え 1 聖武天皇が仏教による鎮護国家を目指し、唐の影響を受けた国際的な文化が形成された。	天平文化は、聖武天皇が仏教の力で国家の安寧を願った（鎮護国家）ことが大きな推進力となりました。当時、日本は積極的に唐の制度や文化を取り入れており、都である平城京には国際的な品々が集まりました。選択肢にある密教の発展（弘仁・貞観文化）や、かな文字の普及（国風文化）は、いずれも平安時代の特徴です。
問11	答え 3 古事記・日本書紀	奈良時代には、天皇による統治の由来を神話の時代からさかのぼって記録し、国内外に国家の正当性を示すための事業が行われました。その結果、712年に『古事記』が、720年に『日本書紀』が完成しました。『古今和歌集』は平安時代に編纂された勅撰和歌集であり、時代が異なります。
問12	答え 4 鎮護国家	奈良時代、相次ぐ疫病の流行や政治的な混乱、災害といった社会不安を背景に、仏教の教えによって国を護るという「鎮護国家」の思想が重視されました。聖武天皇はこの考えに基づき、都の東大寺に金銅の大仏を造立するだけでなく、全国各地に国分寺・国分尼寺を建立させ、国家の平穏を祈願しました。
問13	答え 1 阿修羅像	奈良時代の天平文化では、仏教による国家の安定を願う聖武天皇の政策を背景に、多くの優れた仏像が製作されました。興福寺に伝わる阿修羅像は、粘土や漆を用いた脱活乾漆造（だっかつかんしつぞう）という技法で作られており、三面六臂（三つの顔と六本の腕）の独特な姿と、繊細な表情が特徴です。